

## 2014 年度 サイエンス映像学会 研究会のご案内

サイエンス映像学会では、8月30日（土）に、研究会を開催いたします。

コンピュータ・グラフィックスを応用した宇宙やミクロの世界の映像化の話題のほか、近年手薄だった教育関係の複数の発表などが行われます。プログラムは裏面をご覧ください。

入場は無料で、どなたでもご参加いただけますので、ぜひご来場ください。 事前申込みの必要はありません。

### 《招待講演一覧（発表順）》

#### 「サイエンスと映像のあいだ」

三浦均氏（武蔵野美術大学）

#### 「もしも地球が立方体であったなら—空想気象学の発想」

木村龍治氏（放送大学）

#### 「バイオイメージング技術から生まれた新しいCG世界」

高間大介氏・伊達吉克氏（NHK エンタープライズ）

#### 「科学技術の映像表現におけるCG制作の実践例(JSTサイエンスニュースより)」

山崎豊氏（CN インターボイス）・寿桜子氏（科学技術振興機構）

日時： 2014年8月30日（土） 10:00—16:55（開場予定 9:30）

会場： 法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎 4 階（東京都千代田区富士見 2-17-1）

※ 昼食は市ヶ谷駅・飯田橋駅周辺の飲食店か、外濠校舎 1 階のコンビニエンスストア等をご利用ください。



問合せ先： サイエンス映像学会 事務局長（藤田貢崇）

e-mail svsjimu@gmail.com

電話 080-8916-1462

## 2014年度 サイエンス映像学会 研究会 スケジュール

開催日：2014年8月30日(土)

会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎4階(東京都千代田区富士見2-17-1)

時間	分	番号	演題/発表者(所属)
10:00	5		開会挨拶 林成之(サイエンス映像学会 会長)
10:05			
10:05	30	S1	サイエンスと映像のあいだ 三浦均(武蔵野美術大学)
10:35			
10:35	40	S2	もしも地球が立方体であったならー空想気象学の発想 木村龍治(放送大学)
11:15			
11:15	10		休憩
11:25			
11:25	15	R1	オーロラの全天周3D映像化 片岡龍峰(国立極地研究所)
11:40			
11:40	15	R2	大規模粒子シミュレーションの可視化 武田隆顕(ヴェイサエンターテイメント・国立天文台)
11:55			
11:55	15	R3	映像素材としての科学データ 中山弘敬(国立天文台)
12:10			
12:10	65		昼休み
13:15			
13:15	40	S3	バイオイメージング技術から生まれた新しいCG世界 高間大介・伊達吉克(NHKエンタープライズ)
13:55			
13:55	15	R4	数理形態学に基づく生物画像情報処理 木森義隆(自然科学研究機構)
14:10			
14:10	15	R5	少女がクジラと出会ったらー動物CGの新しい可能性ー 河合晴義(フリーランス)
14:25			
14:25	15	R6	メディカル/サイエンティフィック・イラストレーション業界の日本の動向 有賀雅奈(北陸先端科学技術大学院大学・日本学術振興会)
14:40			
14:40	20		休憩
15:00			
15:00	40	S4	科学技術の映像表現におけるCG制作の実践例 山崎豊(CNインターボイス)・寿桜子(科学技術振興機構)
15:40			
15:40	15	R7	サイエンス映像で、インタラクティブな理科授業を 長谷川智子(荒川区立尾久八幡中学校)
15:55			
15:55	15	R8	化石分野でのCG骨格制作とそれを利用した科学教育の手段 荻野慎諧(ActoW)
16:10			
16:10	10		休憩
16:20			
16:20	15	R9	原発放射能汚染のサイエンスビジュアルライゼーション 後藤理一郎(武蔵野美術大学・修士課程)
16:35			
16:35	15	R10	心の文法ー言葉のかたちは宇宙のかたちになるー 徳尾裕久(徳尾保険事務所)
16:50			
16:50	5		閉会挨拶 林勝彦(研究会長・サイエンス映像学会 副会長)
16:55			